

防水性能本当に大丈夫!?

— 防滴・防水試験のご案内 —

スマートフォンやデジタルカメラ、防犯ブザーなど身の回りの様々な製品で防滴や防水をうたうものがあります。

防滴や防水性の評価方法としてIP（Ingress Protection：侵入への保護）規格に基づく性能評価があり、日本文化用品安全試験所では、専用の防水試験室を設置し、試験を実施しています。



防犯ブザーのIPX4試験の様子



スマートフォン用防水ケース

防滴・防水に関するIPコードの概要

IPコード	概要
IPX1（防滴Ⅰ形）	鉛直に落下する水滴に対して保護する。
IPX2（防滴Ⅱ形）	15度以内で傾斜しても鉛直に落下する水滴に対して保護する。
IPX3（防雨形）	散水に対して保護する。
IPX4（防沫形）	水の飛まつに対して保護する。
IPX5（防噴流形）	噴流に対して保護する。
IPX6（耐水形）	暴噴流に対して保護する。
IPX7（防浸形）	水にし浸しても影響かせないように保護する。
IPX8（水中形）	潜水状態での使用に対して保護する。

浴室まわりの電化製品、スマホ用防水ケースなどの防水グッズ、電動アシスト付自転車等小型のものから大型のものまで、様々な製品について試験を受付けております。傘や雨合羽の漏水試験やゲリラ豪雨（100mm/h以上）に対応した漏水試験や防塵試験も行っています。お気軽にご相談ください。



お問い合わせはこちらまで



一般財団法人 日本文化用品安全試験所（ブンカケン）

東京事業所 製品安全部 TEL:03(3829)2509

E-Mail : seino-tokyo@mgsl.or.jp